

「今夏の天候予報説明会」開催のご案内

主催 気候問題研究所

平成23年2月7日
気候問題研究所

拝啓 向春の候、貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

厳しかった寒波も終わり、早や天気図上にも春の気配が感じられるようになりました。

さて、「今夏の天候予報説明会」のご案内を差し上げます。今冬の寒波や昨夏の猛暑の原因になったラニーニャ現象は、春には終わると気象庁は予報しています。しかし、外国の予測ではラニーニャが夏も続く、あるいは、夏にエルニーニョが発生する、とモデルの予測は様々です。この夏も昨年のような猛暑になる可能性を秘めています。また、今冬も現れた「負の北極振動」の影響はあるのか、梅雨明けは早いのか、遅いのか、今夏の天候の見通しについて解説いたします。

会費は無料となっております。資料とお飲み物（コーヒー）をご用意致します。

是非、ご来場賜りますようご案内申し上げます。

敬具

記

日 時 平成23年3月3日（木）午後2時～3時30分（開場午後1時30分）

場 所 **スター貸会議室 東京駅八重洲第2**

住所：東京都中央区八重洲1-5-10 八重洲ビル3階

電話：TEL 03-5217-5577

アクセス： JR 東京駅八重洲口北口徒歩3分

東京メトロ銀座線、東西線「日本橋駅」徒歩4分

（地図参照）

昨春・昨秋と同じ会場です。

参加費用 無料でご招待いたします。

お申し込み メールで受付いたします。参加者名、所属部署名をご連絡下さい。

担 当 ： 清水輝和子

メールアドレス： s_kiwako@tempo.ocn.ne.jp

電話： 080-2069-8055

平成 23 年夏の天候解説

解説者と経歴

朝倉 正 (所 長): 理学博士、元気象庁長期予報課長、予報経験年数 45 年

清水輝和子 (副所長): 気象予報士、元日本気象協会長期予報担当、経験年数 15 年

今夏の天候解説

・今冬の寒波について

“冬寒ければ夏暑し” は本当か

・昨夏の天候の実態と原因を探る

- 1 . 早い梅雨明けは猛暑の前兆
- 2 . 記録的猛暑の実態とその原因
 - ・エルニーニョからラニーニャへ急変
 - ・強いチベット高気圧
 - ・北極海の海水面積が少ないと猛暑
- 3 . 局地的豪雨と温暖化
- 4 . 台風発生数最少記録とオーストラリアの豪雨

・「春・梅雨・夏の天候予想」の注目点

- 1 . 海洋と太平洋高気圧
 - ラニーニャ現象はいつ終わるか
 - ラニーニャ春に終わった年の天候
 - 夏も続いた年の天候
 - エルニーニョが発生すると
 - インド洋の低水温と日本の夏
- 2 . 北極振動で変わる夏
 - 偏西風の蛇行とオホーツク海高気圧

・今夏の天候予想

「今夏の天候予報説明会」会場 アクセスマップ



スター貸会議室 東京駅八重洲第2

住所： 東京都中央区八重洲1-5-10 八重洲ビル3階
(「喫茶ウィンザー」の上3F)

電話：TEL 03-5217-5577

アクセス： JR 東京駅八重洲口北口徒歩3分
東京メトロ銀座線、東西線「日本橋駅」徒歩4分

- ・会場の室内は禁煙になっております。
- ・当日はお名刺をお持ち頂きますと受付手続きが早く終わります。
- ・**昨春・昨秋の会場と同じです。**

気候問題研究所

〒302-0115

茨城県守谷市中央2-8-4

TEL 080-2069-8055